

令和5（2023）年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価結果書

施設名称		荒井中央公園		施設区分		施設管理型			
施設所在地		郡山市安積北井一丁目47番地		指定管理者		公益財団法人郡山市文化・学び振興公社			
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日		施設所管部課		都市構想部公園緑地課			
評価項目		評価基準		配点（標準点）	指定管理者自己評価	自己評価コメント	市評価	市評価コメント	特記事項
Ⅰ 市民の平等な利用の確保									
1	平等利用	市民の利用にあたり、公平であるか。（例：使用許可、使用料等の減免、利用の制限 等）	2(1)	2	条例・規則に基づき、公平・平等な取り扱いを行った。町内会等の公的団体については、減免団体として使用料等の減免を行った。イベント受付は電子メール・FAXでの募集・抽選制を導入し公平性を確保した。	2			
2	危機管理、事故・災害等への対策・対応	事故・災害発生時又は危険予測時の対策・対応が行われているか。（例：マニュアル整備、訓練等）	2(1)	2	BCP(業務継続計画)を策定し、運用している。危機管理マニュアルや緊急時の連絡網を整備している。警報が出た際は、館内を巡回し危険個所の確認を行っている。通常御巡回時には園内の危険個所の点検を行っている。消防訓練は2回実施し、遊具の日常点検を月に1回実施した。	2			
小計			4	4		4			
Ⅱ 施設の効用の最大限の発揮									
3	管理運営方針	市が示している管理運営方針及び仕様書に合致した、施設の管理運営がなされているか。	4(3)	3		3			
4	事業実施状況	計画どおり事業が実施されているか。サービス向上の取り組みがなされているか。	4(3)	4	抽選制や電子メールでの募集を開始した。集客のための努力を行ったが、令和3年度・4年度と申込者が0であった事業を、来園者にいつでも見ていただけるようパネル展示へと変更して行った。	4			
5	広報・PRの実施	利用促進のための取り組みを実施しているか。（例：事業の開催案内、ホームページの管理 等）	4(3)	3		3			
6	接客態度	言葉づかい、態度、電話対応、名札、服装等は適切か。	4(3)	3		2	言葉づかいや電話対応等で一部不適切な対応があった。		
7	苦情・要望の把握・対応	利用者からの意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。（記録簿整備を含む。）特に重要な事案については、遅滞なく市へ報告しているか。	4(3)	4	記録簿を作成し、苦情・要望・意見に適宜対応した。重要な案件については、速やかに市に報告した。	4			
8	市、関係機関、類似施設、地元等との連携	市、他の指定管理者、関係機関、類似施設、周辺施設、地元等との連携を図っているか。（例：施設間の回遊・相互利用、地元とのタイアップ、積極性 等）	4(3)	3		3			
9	利用者アンケートへの対応状況	利用者アンケートによる指摘のうち、改善すべき事項について対応を図っているか。	3(2)	3	利用者アンケートの指摘には真摯に対応した。以下積極的に改善した点 ①1ヶ月に1度、遊具の日常点検を行った ②冬場には灯油を提供した ③ホールのバスケットゴールを職員が修理した ④排気ダクトを職員が修理した ⑤ホール東側の広場の立ち木を処理した部分を平らにして安全を確保した	3			
小計			27	23		22			
Ⅲ 管理経費の縮減									
10	帳簿管理・経理	帳簿等は適正に管理されているか。契約にあたり、適正な経費算定（積算）が行われたか。業務委託や修繕について適正な監督、検収が行われたか。	5(3)	5	当社規程に基づき、厳格に帳簿等を管理した。契約等の業務においても、必要書類を整備し、適正に行った。社外監事による監査、公認会計士による会計指導を受けた。	5			
11	収入確保、支出の適正化等、予算の執行状況	収入確保の取組みを推進しているか。指定管理料を含め、支出が適正に行われたか。	5(3)	5	複数業務の一括発注に努め、支出は適正に行った。利用料金収入があり、昨年度よりも収入が10%以上増加した。利用料収入増加のため、利用者の要望に応えるよう努めている。	5			
小計			10	10		10			

(様式2)

Ⅳ 管理を安定して行う人的、物的能力その他経営上の基盤							
12	人員・研修体制	人員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。必要な資格、経験等を有する人員が確保されているか。職員に対し研修を実施しているか。	5(3)	5	資格の有無や経験等踏まえ、他施設と兼務しながら適切な人員配置を行った。職員がそれぞれ接遇研修・遊具の点検講習会・防火管理者講習・刈払い機講習・伐木等特別教育講習を受講。また、樹木医、公園管理士の有資格者の方から指導を受けている。	5	
13	収支状況	収支予算書どおりの収支状況となっているか。	5(3)	5	収支状況は概ね良好で、指定管理会計の収支及び他会計繰入金を除いた収支はともに黒字であった。節電対策を行い、コストを削減した。利用料金収入も昨年より10%以上増加している。	5	
14	連絡調整	協定書等に従い、市への各種届出、報告、提出、協議、相談等を適切にしているか。市や地域、関係機関との連携調整を適切に行っているか。	5(3)	5	各種届出、報告、書類提出、協議、相談を適切に行った。また、地域や関係機関との連絡調整も適切に行った。警報発令時や巡回時の点検で異常があった場合は逐一報告し、事務局とも共有している。	3	災害発生時の速やかな連絡など、市への相談体制は適切であった。
小計			15	15		13	
Ⅴ 適切な施設の維持管理							
15	施設・設備の保守管理	法定点検が確実に行われているか。施設・設備が適切に利用できるような状態が保持されているか。(修繕を含む。)	12(5～7)	8	法定点検・定期点検を漏れなく行った。また、修繕計画を作成し修繕が必要な場合は所管課へ報告、可能な限り速やかに実施し適切な保守管理に努めた。枯枝や支障のある枝葉は適宜剪定している。警報発令時は危険個所の現場確認を行い、逐一所管課及び事務局に報告し、情報の共有をしている。	6	年度計画が作成され、適切に実施した。
16	安全の確保	建物・設備等が安全に利用できるような状態が保持されているか。	5(3)	4	建物・設備等の点検や危険個所の把握(修繕のリスト等)を日常的に行い、安全に利用できるよう努めた。炎暑のもとでの遊具使用について注意喚起するなど安全対策に努めた。遊具の点検講習会に参加した職員が日常点検についてその他の職員に指導し、遊具の日常点検を月に1回行った。また、リスク対応のため保険に加入した。	4	
17	清掃・衛生・美観維持	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。市の指定管理施設にふさわしくないチラシやパンフレットの陳列、ポスター掲示等はないか。	5(3)	4	施設清掃、園内除草・清掃、屋外トイレ清掃、廃棄物処理等を計画どおり実施した。また、不適切掲示物等を発見した場合、速やかに撤去した。管理人には毎日の巡回時に、公社職員も巡回時にごみ拾いや枯枝の回収を行って園内の美化に努めた。落葉時には敷地外の落ち葉も回収して近隣住民に迷惑をかけないように努めた。落ち葉は5日にわたって公社職員で回収し、除草清掃業務を再委託している業者にも回収するよう依頼。その後枝の剪定を行った。	4	
18	備品の管理	備品が適切に管理されているか。	3(2)	3	損傷・滅失することなく、台帳との整合性もとれるように適切に管理した。	3	
19	持ち込み物品等の管理	持ち込み物品等が適切に管理されているか。(例：持ち込み物品等管理簿、表示 等)	3(2)	3	管理簿と全て現地の物品が一致しており、適正に管理している。	3	
20	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告、手続き等を行っているか。	2(1)	2	関係する法令、条例、規則等を遵守し、必要な点検、報告、手続き等を行った。	2	
21	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されているか。個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。	2(1)	2	当社規程に基づき適切に管理し、情報の漏洩、滅失等の事故防止に努めた。情報セキュリティ要綱を策定し運用、個人情報ハンドブックを整備している。	2	
小計			32	26		24	

(様式2)

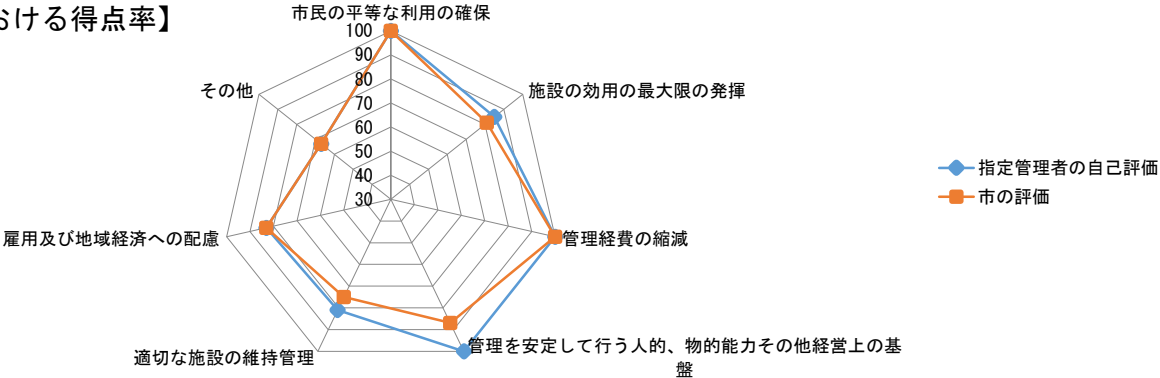
Ⅵ 雇用及び地域経済への配慮							
22	雇用・労働条件への配慮	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等の順守がなされているか。 労働条件への配慮は十分か。	3(2)	3	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等を遵守した。また、法定を上回る有給休暇の取得ができるような環境づくりに努めた。男性の育児休暇の拡充や、職場環境について必要な事項をまとめた安全衛生管理要項を定めた。	3	
23	地域経済への配慮	計画通りに市内からの職員採用を行っているか。 再委託は計画通り適正に行われているか。 市内事業者への再委託を行っているか。	3(2)	2		2	
小計			6	5		5	
Ⅶ その他							
24	活動指標	設定した指標の目標値（開館日、情報発信回数）を達成しているか。	2(1)	1		1	
25	成果指標	設定した指標の目標値（施設利用者数）を達成しているか。	2(1)	1		1	
26	指定管理業務への姿勢	積極的な管理運営、市に協力的であるか 地域や民間事業者と円滑な関係を構築しているか	2(1)	2	市に協力して積極的な管理運営を行った。また、地域や関係団体との円滑な関係構築に努めた。	2	
小計			6	4		4	
合 計 点			100	87		82	

実 績						
	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度	合計
指定管理料（千円）	9,751	9,631	9,920	10,095	9,991	49,388
利用料金収入（千円）	7	12	30	53	72	174
利用者数（人）	21,282	9,900	14,765	14,242	14,435	49,562
二次評価 （市の評価）	A	B ⁺	B ⁺	B ⁺	A	
備 考	令和2年3月は新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が少なかった。	新型コロナウイルスや福島県沖地震による影響が大きかった。	新型コロナウイルスや福島県沖地震による影響が大きかった。	新型コロナウイルスによる影響が引き続き大きかった。		

サービス向上対策

- ・排気ダクト、バスケットゴール等、コスト削減のため公社職員が自発的に修理した。
- ・落ち葉処理を複数回にわたり処理した。
- ・事業をより集客が見込めるものに変更した。

【各評価区分における得点率】



【一次評価（指定管理者による自己評価）】

評価	点数	評価内容
A ⁺	87	【総合評価（評価できる点等）】 ・施設利用では、条例や規則に基づき公平・平等な取り扱いを行い、占有により申請が必要な場合は丁寧に説明し、理解を得ることに努め、昨年よりも利用団体が増えた。 ・施設・設備等の維持管理では、各種の法定点検を漏れなく実施するとともに日常的な点検を行い、不具合が見つかった箇所は可能な限り修繕等を行った。遊具の日常点検は月1回行った。 ・事業は抽選制、電子メールでの受付を導入した。過去2年間で応募者が0であった事業をパネル展示に変更し、来館者にいつでも見ていただけるようにした。 ・管理経費の縮減は一定程度達成できており、収支状況は良好であった。 ・BCP（事業継続計画）や施設管理要項、情報セキュリティ要項を策定して運用している。 ・労働環境として、コロナ関連休暇の取り決めを行い、一律で取得できるようになっている。 ・外来種カミキリムシ被害の有無の経過観察を行っている。 ・暖房設備のない「ふれあいホール」の冬季間の利用者に対して、暖房器具、燃料を無償で貸出している。 【改善のための行動計画への対応状況】 新型コロナウイルス感染症の影響で利用者は減少傾向にあり、今年度も前年度と変化はあまりなかったが、利用団体確保努力をし、貸館利用数を利用料金が増加した。

【二次評価（市による評価）】

評価	点数	評価内容
A	82	【総合評価（評価できる点等）】 ・新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減少傾向にある中、利用団体確保努力により利用料金が増収となった。 ・ゴミ拾いや落ち葉回収など、施設内の美観維持と近隣住民への配慮の意識が高い。 ・炎暑下での遊具利用における注意喚起など、柔軟に対応がなされている。 【次年度に向けて改善を望む点】 ・SNS等を用いた広報など、既存手法以外の新たなPR方法を検討してほしい。 ・利用者アンケートを参考とした自主事業の更なる充実等により、サービス向上に取り組んでほしい。

【指定期間全体を振り返っての総括評価】

	プラス評価となる点	マイナス評価となる点
指定管理者による評価（一次評価）	・修繕リストを作成し、計画的に修繕を行った。危険箇所は速やかに立入禁止措置をし、市に報告した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の時期を含むが、独自に作成した新型コロナウイルスガイドラインを運用し、安心安全に施設管理を行った。事業は、換気や定員等の見直しで工夫してコロナ渦でも市と協議しながら取り組んだ。 ・施設管理にあたり、接遇研修・遊具の点検講習会・防火管理者講習・刈払い機講習・伐木等特別教育講習を受講し、日常業務に活かした。コスト削減のため、伐木等特別教育講習に参加した職員で可能なものは伐採を行った。 ・利用者増加のため、計画から変更して事業を行った。	・駐車場拡大希望の意見が多かったが、指定管理者では対応できず、乗り合わせていただくよう説明するのみの対応となった。
市による評価（二次評価）	・新型コロナウイルス感染症対策や遊具利用における注意喚起を講じ、利用者が安心安全に公園を利用できるように工夫されていた。	・利用者アンケートを踏まえた施設管理に取り組み、SNS等を用いた広報や自主事業の更なる充実等により、利用者の増加に努めてほしい。